

施策評価シート（令和3年度 実績）

まちづくりの方向性	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	3-2 自然災害に対する防災・減災対策の充実
概要	<p>近年全国的に多発している大規模な自然災害の未然防止と被害軽減のため、公共施設や住宅などの防災機能の向上や地域における防災対策の充実を図ります。</p> <p>今後も利用し続ける公共施設については耐震化等の対策を推進します。一般住宅等については、震災等の被害を軽減するため、耐震改修等に対する助成を継続します。</p> <p>また、発災時においては町民一人ひとりの日頃の備えや、身近な地域での助け合いが被害軽減につながることから、自助に関する情報提供や地域における共助の仕組みづくりを促進し、自助・共助・公助のバランスのとれた防災力・減災力の向上を図ります。</p>

No.	関連する予算等事業名	トータルコスト（千円）			庁内評価（2次評価）		
		R1	R2	R3	R1	R2	R3
1	火災予防活動経費	1,849	2,135	1,757	適当・要改善	適当・要改善	良好・維持
2	消防職員教育推進事業（一般経費）	2,180	1,259	1,375	良好・維持	適当・拡大	良好・維持
3	応急手当普及活動経費	1,299	1,128	893	適当・維持	適当・要改善	適当・維持
4	警防活動経費	1,744	2,935	5,453	適当・維持	良好・維持	良好・維持
5	緊急消防援助隊活動経費	753	2,377	947	良好・維持	良好・維持	適当・維持
6	救急救助活動経費	9,028	26,692	14,208	良好・維持	良好・維持	良好・維持
7	消防車両管理経費	8,440	6,761	5,870	良好・維持	良好・維持	良好・維持
8	消防・救急車両更新事業	34,298	2,466	2,155	良好・維持	良好・維持	良好・維持
9	消防団運営経費	18,094	16,377	16,271	適当・維持	良好・拡大	良好・維持
10	分団消防車両管理経費	2,400	2,547	2,528	適当・維持	適当・維持	適当・維持
11	分団施設維持管理経費	1,204	1,270	1,969	適当・維持	適当・維持	適当・維持
12	消防庁舎維持管理経費	7,774	10,562	8,418	適当・維持	適当・維持	適当・維持
13	交通安全対策事業	3,303	2,643	3,438	適当・維持	適当・維持	適当・維持
14	防犯対策事業	19,393	18,478	19,424	適当・維持	適当・維持	適当・維持
15	耐震診断等事業	1,974	1,088	8,567	適当・維持	適当・維持	適当・維持
16	防災訓練・自主防災組織育成事業	3,953	3,224	2,456	適当・維持	適当・維持	適当・維持
17	防災施設維持管理経費	31,374	35,011	15,769	良好・維持	良好・維持	良好・維持
18	防災対策経費	4,904	35,417	11,837	適当・維持	適当・維持	適当・維持
19	災害時応急救護所運営事業	2,879	2,347	1,637	適当・維持	適当・維持	適当・維持
20	公共施設再配置	1,706	1,776	5,906	適当・維持	良好・維持	良好・維持
21	公共施設予約システム運用事業	2,916	3,274	2,418	適当・維持	適当・要改善	適当・要改善
22	庁舎維持管理経費	31,342	31,658	44,335	適当・維持	適当・維持	適当・維持
23	財産管理経費	19,034	116,007	10,193	適当・維持	適当・維持	適当・維持
24	庁用車管理経費	7,406	6,491	6,750	適当・維持	適当・維持	適当・維持
25	一般経費（各種管理責任者講習）	243	221	159	適当・維持	適当・維持	適当・維持
26	町民センター維持管理経費	14,961	47,640	27,618	適当・維持	適当・維持	適当・維持
27	老人憩いの家維持管理経費	3,375	3,406	4,331	適当・維持	適当・維持	適当・維持
28	児童館維持管理経費	4,568	2,480	3,666	適当・維持	適当・維持	適当・維持
29	防災コミュニティセンター管理事業	10,976	8,925	9,870	適当・維持	適当・維持	適当・維持
30	保健センター管理運営経費	6,631	6,834	17,106	良好・維持	良好・維持	良好・維持
31	百合が丘保育園維持管理経費	6,872	4,595	6,418	良好・維持	適当・維持	適当・維持
32	子育てサロン及び一時預かり運営事業	25,349	23,702	25,621	良好・維持	良好・維持	良好・維持
33	高齢者福祉施設等関係経費	3,081	2,925	6,579	適当・維持	適当・維持	適当・維持
34	サービスプラザ管理運営事業	4,743	4,723	4,927	適当・統廃合	—	適当・維持
35	ウッドチップセンター運営事業	62,830	61,467	61,986	適当・維持	適当・維持	適当・維持
36	環境衛生センター維持管理経費	19,278	11,650	15,292	適当・維持	適当・維持	適当・維持
37	ごみ積替施設運営事業	55,145	52,415	56,979	良好・維持	良好・維持	良好・維持

38	観光施設維持管理事業	1,416	1,317	1,509	適当・維持	適当・維持	適当・維持
39	公園等維持管理運営経費	85,469	90,282	101,730	適当・維持	適当・維持	適当・維持
40	消防庁舎維持管理経費	7,774	10,562	8,418	適当・維持	適当・維持	適当・維持
41	分団施設維持管理経費	1,204	1,270	1,969	適当・維持	適当・維持	適当・維持
42	二宮小学校施設管理運営経費	5,460	5,655	6,777	良好・維持	良好・維持	良好・維持
43	一色小学校施設管理運営経費	3,542	4,364	5,677	良好・維持	良好・維持	良好・維持
44	山西小学校施設管理運営経費	4,827	4,368	4,326	良好・維持	良好・維持	良好・維持
45	二宮小学校教育施設整備事業	5,323	6,971	26,065	良好・維持	良好・維持	良好・維持
46	一色小学校教育施設整備事業	5,017	4,907	9,832	良好・維持	良好・維持	良好・維持
47	山西小学校教育施設整備事業	3,503	5,649	11,495	良好・維持	良好・維持	良好・維持
48	二宮中学校施設管理運営経費	5,579	5,044	5,579	良好・維持	良好・維持	良好・維持
49	二宮西中学校施設管理運営経費	5,041	5,246	6,375	良好・維持	良好・維持	良好・維持
50	二宮中学校教育施設整備事業	4,815	8,419	4,612	良好・維持	良好・維持	良好・維持
51	二宮西中学校教育施設整備事業	3,113	6,084	6,128	良好・維持	良好・維持	良好・維持
52	学校給食施設管理運営経費	84,945	92,532	38,414	良好・維持	良好・維持	良好・維持
53	図書館運営事業	35,879	24,134	31,609	良好・維持	適当・維持	適当・維持
54	生涯学習センター管理運営事業	64,511	87,738	89,165	適当・維持	適当・維持	適当・維持
55	ふたみ記念館管理運営経費	4,387	4,278	3,534	適当・維持	適当・要改善	適当・要改善
56	テニスコート施設管理運営事業	727	957	1,456	適当・維持	適当・維持	適当・維持
57	武道館施設管理運営事業	1,338	2,216	7,125	適当・維持	適当・維持	適当・維持
58	町立体育館施設管理運営事業	11,300	21,059	22,723	適当・維持	適当・維持	適当・維持
59	町民運動場施設管理運営事業	14,602	20,752	21,497	適当・維持	適当・維持	適当・維持
60	山西プール施設管理運営事業	10,353	10,452	19,264	適当・維持	適当・維持	適当・維持
61	町民温水プール施設管理運営事業	66,021	80,260	83,902	適当・要改善	適当・要改善	適当・要改善
62	新庁舎整備事業	16,465	6,222	14,259	適当・維持	良好・維持	良好・維持
合計		889,910	900,927	968,566			

成果 (○)
課題等 (●)

○自助の強化としては、新たな災害リスクを示したハザードマップを改定し、全戸配布を実施。また、電話、FAXによる災害時緊急情報配信サービスを開始。これらにより町民の防災意識の高揚を図ると共に、情報伝達の強化を図ることができた。

○共助の観点からは、実践的な避難所運営を学ぶための研修を町民参加型で行ったり、地域の防災の代表である防災指導員研修を定期的に実施し、地域の防災対策の強化を図った。

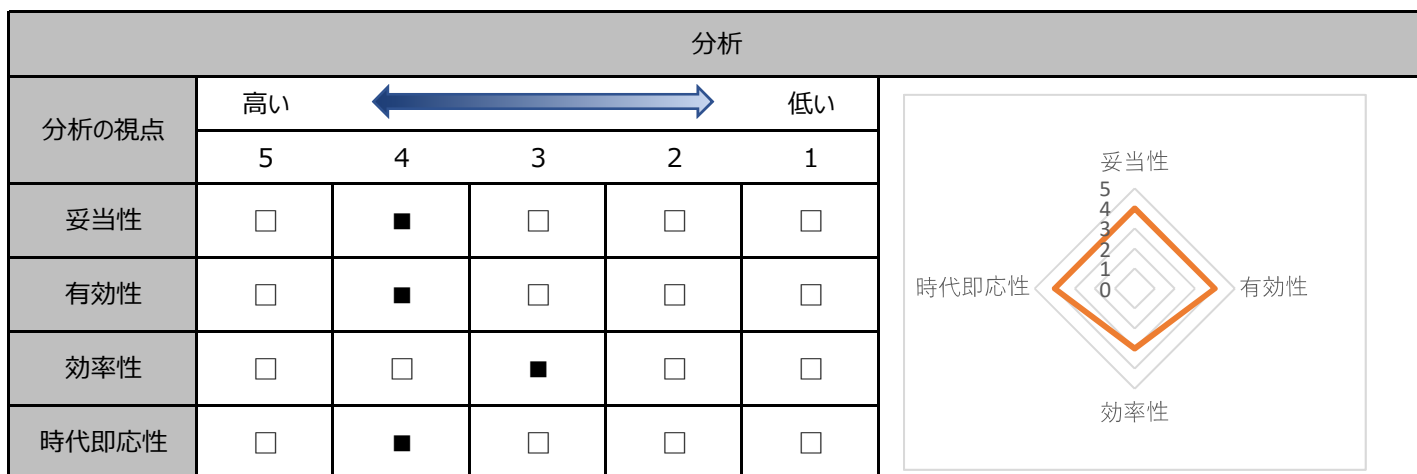
○公助の観点からは、大災害を想定した災害対策本部の図上訓練等をコロナ禍においても実施し、本部機能の強化を図った。

○町民の生命、財産を守るための消防力の維持、向上を図った。

●コロナ禍において、総合防災訓練の中止や地区の自主防災訓練などが自粛となりハザードマップの改定についての説明や周知が十分に行えなかった。

●一般住宅の耐震診断等については、町民の危機意識で実績が左右される面があり、日々の啓発が重要になる。効果的な啓発を検討する必要がある。

●コロナ禍における火災予防啓発、応急手当普及の在り方を検討する必要がある。



※1次評価 「A：十分な成果があった」「B：一定の成果があった」「C：あまり成果がなかった」「D：成果が得られなかった」

総合評価（評価・理由等）	
B：一定の成果があった	<p>防災対策について、自助の部分では町民の防災意識の高揚と情報伝達の強化を図ることができた。共助の部分については、コロナ禍ではあるが少しずつ活動が復活する中で地域と連携した活動の充実を図ることができた。公助の部分では図上訓練等を通して関係機関との連携を図るなど災害対策本部の機能強化を図ることができた。自助、共助、公助共にバランスの取れた防災力の向上につながった。</p> <p>一般住宅の耐震診断等については、木造建築物の無料相談会の開催、耐震診断費、耐震改修工事費及びブロック塀撤去工事費の補助を実施することにより、住環境及び町民の防災意識の向上が図れた。</p> <p>コロナ禍で実施できなかった火災予防啓発、応急手当普及に対し、新たな手法で実行し、継続することで、今後の成果に繋げることが見込める年度になった。また、消防団の処遇改善、機能別消防団の創設、民間事業所との消防活動支援の協定の準備を進めることにより消防力の向上、維持に繋げた。</p>

※ 町の最終方針 「継続推進」「一部改善」「抜本的見直し」

町の最終方針（今後の方向性）	
継続推進	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の防災意識向上を図り、コロナ禍でも新たな訓練等の形を模索し効果的に実施することができたため、今後も継続してより防災力の向上に繋がる施策を実行していく。 ・地震や火災対策について、より町民に強い防災意識を持ってもらえるよう、啓発活動を進める。